

司会：奥平（校長）

記録：高山（教頭）

1. 日時 令和7年10月30日（木）

2. 場所 大阪府立大正白稜高等学校 校長室

3. 出席者（五十音順）

◆協議会委員 坂本 由香 NPO 法人 FAIRROAD 代表理事
 辻野 けんま 大阪公立大学准教授
 吉田 優子 株式会社アッテミー代表(キャリアコンサルタント)
 仲村 実那子 本校 PTA 会長

◆教職員 奥平 文 校長
 槿原 秀一 事務局員（教頭）
 高山 玄一 事務局員（教頭）
 中西 真一 教務主任
 三根 佳佑 生徒指導部長
 鈴木 聖裕 特別活動部長
 瀬戸 克子 保健主事
 森脇 教行 第2学年主任
 中井 健太 第1学年主任

4. 議事

I 白稜祭の視察について

II 令和7年度「学校経営計画」の進捗および今後の課題について

III その他

5. 説明・協議

I 白稜祭の視察について

白稜祭を視察し、生徒が明るく朗らかな雰囲気の中で、少人数ながらも工夫し創造しながら心から楽しんでいる様子を確認した。

生徒の柔らかな人間関係や、教職員が裏方に徹して生徒を支えている姿が印象的であり、学校全体として温かく落ち着いた雰囲気であることが高く評価された。

また、体育館でのライブや生活委員会の発表、泉尾工業をはじめとする企業展示など、地元企業との連携による取組が充実しており、生徒が来場者にフレンドリーに接する姿が特に印象深いとの意見があった。

一方で、このような良い教育活動が展開されている学校が募集停止となることを惜し

む声や、生徒および教職員の今後を案じる意見も出された。

今後については、１クラスの人数や教員配置等、学校の仕組みを見直し、すべての生徒に必要な支援が行き届く体制づくりを進めるとともに、企業や行政との連携をさらに深め、特色ある取組を継続してほしいとの要望があった。

⇒学校運営協議会委員の皆様にも学校行事の運営に参画していただき、閉校までともに盛り上げ、生徒をあたたかく育てていくことを確認した。

Ⅱ 令和７年度「学校経営計画」の進捗および今後の課題について

学校経営計画の進捗状況について報告を行い、今後の学校課題として、在校生に対する教育内容の確実な保障が重要であることを確認した。

特に、募集停止に伴う学校行事の縮小化については、生徒の学びや成長の機会が損なわれないよう、工夫と配慮が必要であるとの意見が出された。

Ⅲ その他

次回に向けて

以上